

2010年1月12日

各 位

中外製薬、6年ぶりにウェブサイトリニューアル

デザインやサイト構造を一新し、
アクセシビリティとユーザビリティを向上

中外製薬株式会社〔本社：東京都中央区／社長：永山 治〕（以下、中外製薬）は、企業情報や病気とくすりに関する最新かつ有益な情報をより多くのステークホルダーの皆様にご提供するために、2010年1月7日よりウェブサイトをリニューアルいたしました。

リニューアルは2003年12月以来6年ぶりとなります。

今回のリニューアルでは、デザインやサイト構造を一新し、ご利用いただく皆様が目的とする情報へ容易に到達できるようアクセシビリティと操作性や情報検索性等のユーザビリティを向上させました。主なリニューアルのポイントは以下の通りです。

【リニューアルのポイント】

①アクセシビリティの向上

掲載情報を再整理するとともに、階層を少なくして目的の情報にいち早く到達できるよう、以下の三つの目的別サイトを構築いたしました。

◇「企業情報サイト」<http://www.chugai-pharm.co.jp/>

会社情報、ニュースリリース、CSR情報、株主・投資家向け情報、採用情報等をご提供します。

◇「病気とくすりサイト」<http://chugai-pharm.info/>

患者さんとそのご家族をはじめとする全ての方々に、病気とくすりに関する情報や中外製薬が取り組む活動をご紹介します。

◇「医療従事者向けサイト」<http://chugai-pharm.jp/>（2010年5月リニューアル予定）

医療従事者の皆様専用で、中外製薬が販売している医薬品を適正にご使用いただくための情報をご提供します。

②ユーザビリティの向上

ガイド機能や検索機能を充実させることにより、ご利用いただく方々の使いやすさを追求しております。

また、「企業情報サイト」では、メインビジュアルに新しい企業広告のデザインを採用することにより、中外製薬が貢献度の高い有用な医薬品を提供していることを明確に訴求しています。

中外製薬はバイオ・抗体医薬品のトップ製薬企業として、最新かつ有益な情報を本ウェブサイトを通じ、継続して皆様にお届けしてまいります。

以上

「企業情報サイト」トップページ



中外製薬について

中外製薬は、医療用医薬品に特化し東京に本社を置く、バイオ医薬品をリードする研究開発型の製薬企業の一つです。

2002年10月のロシュ社との戦略的アライアンスの締結以降、ロシュ・グループの重要メンバーとして、国内外で積極的な医療用医薬品の研究開発活動を展開しています。特に、がん、リウマチ、腎性貧血、C型肝炎の領域で最先端テクノロジーを駆使した貢献度の高い医薬品を提供しています。

国内では、御殿場、鎌倉の研究拠点が連携して創薬研究活動を行う一方、浮間では工業化技術の研究を行っています。また海外では、子会社の中外ファーマ・ユー・エス・エー、中外ファーマ・ヨーロッパにて、米国と欧州においてそれぞれ臨床開発活動を行っています。

2008年の連結売上高は3,269億円、営業利益は516億円でした。新中期経営計画「Sunrise 2012」で掲げた2012年の連結売上高4,600億円、営業利益800億円の達成を目指しています。

中外製薬に関するさらに詳しい情報は <http://www.chugai-pharm.co.jp/> をご覧下さい。